

第54回東北地区高等専門学校体育大会 陸上競技 競技要項

1. 主催 東北地区高等専門学校体育連盟
2. 競技開催校 鶴岡工業高等専門学校
3. 後援 鶴岡市、鶴岡市教育委員会、特定非営利活動法人鶴岡市体育協会
一般財団法人山形陸上競技協会
4. 大会期日 平成29年7月1日(土)
5. 大会会場 鶴岡市小真木原陸上競技場(鶴岡市小真木原町2-1)
6. 競技種目 **【男子】** 17種目
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH 300mSC
4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(6.0 kg)
円盤投(1.75 kg) やり投
【女子】 9種目
100m 800m 100mH 4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投(4.0 kg)
円盤投(1.0 kg) やり投
※ [注] アンダーラインの種目は全国大会にない種目である。
7. 競技人員 (1) 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名
(2) 各校1種目3名以内、1人2種目以内
(3) リレーは1校1チーム、6名以内
8. 競技規則 2017年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則による。
9. 競技方法 (1) 学校対抗とする。
(2) **【男子】** 得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
【女子】 得点は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
(3) 最多得点校を優勝とし、同点の場合は上位入賞種目の多い学校を上位とする。
10. 参加申込 (1) 申込期限 平成29年6月2日(金) **【必着とする】**
(2) 申込先 〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104
鶴岡工業高等専門学校学生課内
東北地区高等専門学校体育大会 陸上競技実行委員会事務局
TEL : 0235-25-9027 FAX : 0235-25-8195
11. 代表者会議 (1) 日時 平成29年6月30日(金) 15:00～
(2) 会場 鶴岡市小真木原陸上競技場 会議室
12. 開閉会式 (1) 開会式 平成29年7月1日(土) 9:00～
(2) 閉会式 競技終了後
13. その他 (1) 招集について
① 競技者招集所は、代表者会議の時に連絡する。
② 代人による招集は一切認めない。
③ トラック、フィールドにまたがって同時に出場する競技者は、自ら前もって競技者係に申し出、実施にあたっては、両種目の審判員にその都度申し出ること。
④ リレーに出場するチームは、その招集完了時刻1時間前にオーダーを招集所競技者係に提出すること。
⑤ 招集所から出発点、跳躍場及び投てき場に行く場合、必ず競技者係の誘導に従い規律ある行動をとること。
⑥ 招集時間に遅れた競技者は、すべて棄権とみなして取り扱う。
⑦ 競技者の種目ごとの招集時刻及び完了時刻は次のとおりとする。

区 分	予 選	決 勝
-----	-----	-----

トラック競技	30分前(15分前)	25分前(15分前)
フィールド競技		跳躍 40分前(30分前)
		投てき 50分前(40分前)
		棒高跳 50分前(40分前)

()内は、完了時刻
競技者は、自ら招集時刻から完了時刻の間に競技者係による点呼を受け、ナンバーカード、スパイク等の点検を受けること。(スパイクピンの長さは9mm以下、ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。本数は11本以内とする。)

- (2) ナンバーカードについて
ナンバーカードについては次のとおりとし、胸部、背部に付けること。
ただし、走高跳、棒高跳の競技者は胸部、背部の片方だけでもよい。
八戸：100～ 一関：200～ 仙台名取：300～
仙台広瀬：400～ 秋田：500～ 鶴岡：600～
福島：700～
- (3) 番組編成について
- ①トラック競技の予選レーン順及びフィールド競技の競技順は、プログラム記載順に行い、以降の組み合わせは本部で行う。
 - ②トラック競技決勝に出場するプラスアルファの決定は、写真判定(1/100秒)の記録順による。予定された人数を上回って同記録者がでた場合は、すべて拡大写真により決定する。それでも同記録の場合は抽選とする。ただし、レーンに余裕がある場合、同記録者の着差判定は行わず決勝に進める。
- (4) 競技について
- ①リレーにおけるマーカー(粘着テープ)は各チームで用意し、各走者1カ所使用することができる。ただし、各チームはそのマーカーを責任を持って撤去すること。
 - ②リレーに出場する場合は、チーム(4名)のユニフォームを統一すること。
 - ③トラック競技の全種目では、順位判定のため、競技者係で渡す腰ナンバーカードを右側につける。
- (5) バーの上げ方
走高跳、棒高跳の練習の高さ及びバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳(男子)	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	+3cm
走高跳(女子)	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	+3cm
棒高跳	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	+10cm

第1位が同成績の場合、順位決定を行う。そのためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。(全国大会出場権を決定する場合においても同様である。)

- (6) 競技用器具について
使用する器具は、棒高跳用ポールを除き主催者側が用意したものとする。
- (7) その他
- ①練習は、競技場内で審判員の指示に従って行うこと。
 - ②競技者は、競技場内(練習場も含む)に、企業名、商標名等のついた物品を持ち込む場合は、規定にあったもの以外持ち込んではいけません。また、携帯電話、ビデオカメラ等の機器を競技区域内に持ち込んではいけません。